

はまゆう

第60号
 令和4年8月発行
 発行所
 社会福祉法人高和会
 障害者支援施設
 はまゆう園
 〒882-0104
 宮崎県延岡市北方町角田丑 1369-35
 TEL (0982) 47-3481
 FAX (0982) 47-2822
 E-mail: k-hamayu@ma.wainet.ne.jp

体育祭



体育祭はコロナで延期になり、7月4日に職員と利用者で園内のきらめき棟で行われました。今回は多機能型事業所と合同での体育祭を行いました。玉入れ・スプーンリレー・ボール運びなどを行いました。皆さん一致団結し楽しく競技に参加されていました。



目次

- ・体育祭
- ・お花見遠足
- ・自治会役員
- ・生活介護恒富 花見遠足
- ・生活介護恒富 七夕作品
- ・40周年コメント
- ・決算報告
- ・新人職員紹介



お花見遠足

3月30日は恒例のお花見遠足がありました。満開の桜の下で、皆さんの笑顔を写真におさめました。園内には、毎年たくさんの桜が咲きます。

自治会 令和4年度 自治会役員 三役選挙



今年度の自治会役員の選挙が、5月13日(金)に行われました。8名が立候補しました。選挙運動期間中は、各棟へ自分のポスターを掲示して、投票を呼び掛けていました。選挙当日は、現三役の挨拶、立候補者の演説、投票が行われました。演説では、「明るいはまゆう園」「楽しいはまゆう園」「元気なはまゆう園」と演説を行いました。投票の結果、上位3名が当選しました。施設長室にて当選授与が行われました。



生活介護恒富 花見遠足

城山に遠足に行きました。お菓子取りゲームや散策、みんなでお弁当を食べる楽しい時間を過ごしました。



生活介護恒富 七夕作品

延岡山下新天街で開催されていた『第65回のべおか七夕まつり』にて、生活介護恒富事業所の作品が『サンコー農園賞』を受賞致しました。表彰式も行われ、利用者様の代表3名が出席させて頂き、賞状・賞金の授与が行われました。



「利用者様と共に…40年」

延岡市西部地域基幹相談支援センター

相談支援専門員 甲斐 由美子



開園当初の懐かしき昭和の時代、春は山に出かけてわらびを採ったり、夏は川で水遊び、そして秋は鮎を焼いたり、町民体育祭にも参加しました。冬はウォーキングの後、甘酒を作ったり、遠足では荒平公園で宝探しや草スキーを楽しみました。そういえば、みんなで相撲大会をした事もありました。

昭和・平成・令和へと、40年余りの楽しい思い出を振り返ってみればいつも利用者様と一緒にでした。

「この花瓶は水が漏れません」

はまゆう園が開園してしばらく経ち、工芸班がスタートしました。スタートと同時に、私は工芸班に配属となりました。最初は利用者様も職員も未経験者ばかりで、試行錯誤の毎日。やっと作品が揃い、初めてバザーに参加した時の情景は忘れる事が出来ません。出来上がった筒状の花瓶は、どれも水漏れがあり内側に竹筒を入れて販売しました。しかし、その中に一点だけ水の漏れない花瓶があったのです。唯々嬉しくて、「この花瓶は水が漏れません」という札をつけ販売したことも今では懐かしい思い出です。(現在はそんな事はありません)又、「干支の町・北方」のお膝元で干支づくりを始め、最初に作ったのが寅の置物でしたので、今年で4回目に入りました。月日の流れと共に利用者様も年齢を重ねる中で、「働く」という意味合いも大きく変わってきました。しかし、どれだけ風貌が変わろうとも、40年余りの積み重ねは、利用者様一人一人と共に歩んできた歴史であり、それが「たくましさ」なのだという実感と、大きな喜びがあります。

「試行錯誤で手探りの日々」

入所施設は24時間利用者様が生活される所です。生活の場(食事・入浴・余暇・睡眠等)において、いかに利用者様が快適に過ごしていただけるかが支援員としての私の大きな目標でした。特に部屋を担当している利用者様においては、「私はどんな存在なのか?今、何を望んでおられるのか?」を知りたくて、出来るだけ時間を共にし、どんな場面でも一番の理解者になりたいと思う日々でした。唯々手探りの毎日だった事を思い出します。月日を重ねるうち、理屈でもなく、唯々同じ土俵に乗り、共に生きるという気持ちになった時、肩の力が抜け「当たり前」に接することがお互いの信頼関係を築く事、又、「利用者様のどんな行動にも必ず理由がある」という事に気づき、この経験が、今の私の大きな支えになっております。

時は流れて私は、入所の方々への支援から、グループホームの方々への支援へ、そして今、地域で生活されているの方々への相談支援という業務をさせていただいております。初心に帰り、40年前と変わらず、日々のお会いを楽しみにしております。

「はまゆう園に勤められて本当によかった」

今年の8月で開園から43年目を迎えるはまゆう園ですが、基本理念の中に「地域に開かれた、地域に信頼される施設を目指します」という文言があります。はまゆう園を選んで来ていただいた多数のボランティアの皆様や実習生の方々、はまゆう園の良き理解者として今も地域で活躍されておられ、大変ありがたく心強い存在です。今も目に浮かぶ利用者様の元気な声や顔、ご家族の皆様、同じ志を持つ職員、すべての方々との出会いに感謝し「明るく・たくましく・明日を見つめて・共に生きる」を心に秘め、微力ながらも一職員として今日も業務に励んでおります。

「開設から42年を振り返って」

のべおか障害者就業・生活支援センター

生活支援員 寺田 世津子



私は、昭和55年にはまゆう園が開所する時に採用されました。開設当初22名だった職員で、今も勤務しているのは私も含め5名になりました。開設前の4ヶ月の研修期間は、短大を卒業したばかりの私にとっては、人生経験の豊富な方達と泊りがけでの研修等で、得難い体験をしました。他の方が、先に書いたように思い出がいっぱいあります。



はまゆう園は、当初は「障害者更生施設」で、職員は指導員と呼ばれていました。給食は利用者様と一緒に食べていましたが、偏食だった私は看護師から「指導員が、好き嫌いが多かったらダメでしょう」と言われ食べる努力をしました。おかげで好き嫌いが減りました。初期の活動の中で、一番きつかったのは「山の開墾」より「水泳訓練」でした。午前中は小学校等のプール、午後は川等に出かけました。利用者様は交代でしたが、職員は1日中水泳でした。当時は職員、利用者様も若かったから出来た活動でした。

支援員の中では一番年下で未熟な私は、色々失敗もしました。他の職員から色々教えてもらいましたが、保護者様と利用者様には職員として育てていただき感謝しています。当初から関わった皆様、段々お亡くなりになり寂しい限りです。

当初は皆さん初心者同士でと心配した事もありましたが、現在は11事業を展開する社会福祉法人となりました。その間、障害者福祉サービスは「措置制度」から「支援費制度」に大きく変わり、はまゆう園も平成23年に新制度体系に移行しました。この年から数年間、職員は意識の大改革を求められ、支援や相談援助のあり方が大きく変化しました。業務を十分に出来たとは言えませんが、自分の仕事にやりがいを感じ、自分に与えられた職務を精一杯やってこられたかなと思います。

はまゆう園に約41年、共同生活援助事務所に1年、現在は「のべおか障害者就業・生活支援センター」に勤務しています。就労中や就労を希望する地域生活者の皆様と、企業をサポートする仕事です。分からない事が多く経験不足ではありますが、新鮮な気持ちで取り組んでいます。42年間、こんなに長く仕事を続けるとは想像もできませんでしたが、はまゆう園が楽しく、働きやすい職場だったおかげです。もう少し頑張りますので、宜しくお願い致します。



社会福祉法人 高和会 令和3年度決算報告書 (法人全体)

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	458,471,627	流動負債	110,577,253
		固定負債	38,914,710
		負債の部合計	149,491,963
固定資産	2,307,264,471	純資産の部	
		基本金	206,867,674
		国庫補助金等特別積立金	211,600,626
		その他の積立金	873,283,000
		次期繰越活動増減差額	1,324,492,835
		純資産の部合計	2,616,244,135
資産の部合計	2,765,736,098	負債及び純資産の部合計	2,765,736,098

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

資産・負債の内訳	金額
資産の部	
・流動資産	458,471,627
・固定資産	2,307,264,471
資産合計	2,765,736,098
負債の部	
・流動負債	110,577,253
・固定負債	38,914,710
負債合計	149,491,963
差引純資産	2,616,244,135

資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日

(至) 令和4年3月31日 (単位：円)

事業活動による収支	収入	1,211,364,476
	支出	997,051,214
	収支差額	214,313,262
施設整備等による収支	収入	5,527,000
	支出	46,396,799
	収支差額	△ 40,869,799
その他の活動による収支	収入	2,361,065
	支出	133,733,537
	収支差額	△ 131,372,472
当期資金収支差額		42,070,991
前期末支払資金残高		358,146,090
当期末支払資金残高		400,217,081

事業活動計算書

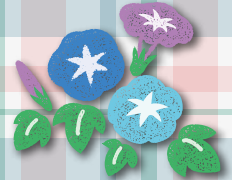
(自) 令和3年4月1日

(至) 令和4年3月31日 (単位：円)

サービス活動増減の部	収益	1,208,188,484
	費用	1,064,344,516
	増減差額	143,843,968
サービス活動外増減の部	収益	3,356,778
	費用	25,049
	増減差額	3,331,729
経常増減差額		147,175,697
特別増減の部	収益	5,527,000
	費用	5,527,008
	増減差額	△ 8
当期活動増減差額		147,175,689
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,307,317,146
	当期末繰越活動増減差額	1,454,492,835
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	130,000,000
	次期繰越活動増減差額	1,324,492,835



新人職員紹介



グループホーム

甲斐 由美子

「利用者様が笑顔で過ごせるように一生懸命頑張ります。よろしくお願ひ致します。」



多機能

山口 加那子


利用者さんが安心、安全に充実した日々を送れるよう一生懸命頑張ります。



はまゆう園

生駒 竜也

直接的な支援をする事は適いせんが、皆様を陰ながらバックアップ出来るよう精一杯努めて参ります。ご指導よろしくお願ひいたします。



はまゆう園

前園 真一郎

まだまだ不慣れなことも多いですが、利用者の皆様が笑顔で健やかに過ごせるよう誠心誠意努めて参ります。ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。



グループホーム

後藤 文代

「不慣れではありますが、利用者様が楽しく笑顔で過ごせるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。」



生活介護恒富

後藤 彰子

5月より、はまゆう園でお世話になりました。子供が4人あり、子育て奮闘中です。初めての事も多くご迷惑をかけることもあると思いますが、少しでも早く慣れてお役に立てるように一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



はまゆう園

廣瀬 純子

入社して5カ月が過ぎました。あわてんぼうの私ですが、よろしくお願ひします。



はまゆう園

吉永 与志子

65歳での転職です。若い先輩方のご指導を受け、利用者様が安全、安心に過ごされる様、より良い支援に頑張ります。



グループホーム

兒玉 優希

日々やりがいを感じています。利用者の方々に愛されるような人間になれるよう「一生懸命」頑張ります。よろしくお願ひします。



グループホーム

篠村 安奈

「利用者様が毎日笑顔で楽しく、安心して過ごせるようサポートしていけたらと思います。日々学びながら頑張ります。よろしくお願ひします。」



多機能

山崎 レナ


人との出会いに感謝して、一日一日を大切に過ごしていきたいです。よろしくお願ひいたします。



はまゆう園

伊東 明子


病院での経験を活かして、ドリーム棟の利用者さんの安全と支援を行います。体力は自信がありますよ。宜しくお願ひします!!



延岡市就業生活・支援センター

高橋 亮次

障がい福祉に関して、殆ど経験がなく日々勉強という気持ちで取り組まさせていただきます。皆様から頂いたアドバイス等を活かし、業務に従事したいと思っておりますので今後とも宜しくお願ひいたします。



グループホーム

安藤 玉恵

「ホームの皆様が安心して過ごせる様な、夜間支援ができればと思っていますので、宜しくお願いします。頑張ります!!」



多機能

末竹 美里

利用者の方々が笑顔で過ごせるよう支援していきたいです。よろしくお願ひ致します。



はまゆう園

草野 華月

はじめてのことばかりで迷惑をかけることがあるとは思いますが、はやく一人前になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします



編集後記

令和4年度がスタートしてあつと言う間にお盆を迎える季節になってきました。今年は梅雨も感じる間もなく、平年でない暑さの夏を迎えました。コロナも異常な発症率。そんな中にあつても、笑顔と希望を持って唯々「前に」を掛け声に、利用者様と共に、笑いあり、涙ありの当たりの日々を過ごしております。こんな時こそ「前へ!」一歩踏み出そう。皆様もお身体お大事に。 **はまゆう園 広報部**

お知らせ

11月3日に行われていました。「はまゆう園収穫祭」は、今年もコロナ感染を考慮し、法人内だけの開催予定です。大変申し訳ございません。来年こそは皆様と盛大に開催されることを願っています。今後共宜しくお願ひ致します。